

地域社会との緊密な連携を築く

## 地域・学校とともに子どもの学びを支えるPTA活動

半田市立板山小学校PTA

### 1 はじめに

半田市は、愛知県の南西部、知多半島の東海岸中央に位置する人口約12万人の町である。「ごんぎつね」で知られる新美南吉の出身地であり、江戸時代から続く醸造業、そして、國盛酒、明治のビール工場跡の「赤レンガ建物」やミツカン酢などがとても有名である。本校はその半田市の西方に位置し、昔ながらの町並みや田園風景が広がる地域に建っており、多くの樹木に囲まれ、別名「森の中の学校」とも呼ばれている。



【板山小学校の校舎】

地域やPTAは、子どもたちとともに育てるという意識が強く、とても協力的で、行事やイベント、授業のゲストティーチャーなどとしてさまざまな場面で学校に関わってくださっている。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

子どもたちの笑顔は、安全・安心が確保された環境の中で、友達や先生、家族、同じ地域で暮らす人たちとのふれあいの中で生まれる。そのふれあいを通して大人たちにも交流が生まれ、深まり、それがまた人を育てていく。子どもたちの笑顔が、未来を担う子どもたち自身の夢や希望を生むと信じて、学校・家庭・地域が一つになって、板山小学校を子どもたちの笑顔あふれる学びの場にしていきたい。その思いを胸に、本校は、半田市の教育重点目標のうち「笑顔いっぱいの子」からテーマ選定し、「こどもたちの笑顔あふれる 学びの場へ」を目標に活動に取り組んでいる。また、「PTAはボランティア活動です」を基本理念に、無理はせず、「できる人ができる範囲でできることをやる」をモットーに楽しく活動を続けている。

#### (2) PTA組織

PTAの組織は、役員5名と4つの専門部（研修・広報・厚生・環境整備）の部長4名、計9名を総務部として構成され、運営を行っている。

##### ① 総務部

PTA活動が円滑に進むよう、学校や地域との連携を円滑に図る。

・PTA役員会開催 よもぎまつり支援 会計 など

※よもぎまつり＝一般的には学習発表会

- ② 研修部  
P T Aと学校と地域が参加できるふれあいの場を計画する。  
・運動会P T A種目 よもぎまつり もちつき大会 など
- ③ 広報部  
P T A活動強化にむけた広報活動を行う。  
・P T Aだより「板山学苑」 3回/年発行 など
- ④ 厚生部  
児童の安心・安全な生活確保の活動を実施する。  
・通学路や危険箇所調査 学校保健委員会 プール開放当番 など
- ⑤ 環境整備部  
児童の安心・安全な環境整備の活動を実施する。  
・除草作業 資源回収 プール清掃作業 など

### 3 実践活動の概要

#### (1) よもぎまつり

よもぎまつりでは、P T Aより毎年、子どもたちへの振る舞いを行ってきた。子どもたちの発表の場にP T Aも関わりたいという意向で始まったもので、過去には、豚汁の振る舞い、うどんの振る舞いなども行ってきた。新型コロナウイルス感染症の影響で、現在は5年生の児童が田植えをし、稲刈りをした餅米を使って、よもぎ餅やきなこ餅を作り、全校児童に配り、振る舞っている。子どもたちからも大好評のP T Aの一大イベントとなっている。



【おもちの振る舞い】

#### (2) 学校保健委員会

P T Aの厚生部が養護教諭と連携し、学校保健委員会を開催している。子どもたちの今日的課題を取り上げ、考え、見直すようにしている。学校保健委員会は、希望する保護者と高学年が参加した。

今年度は浜松学院大学の今井昌彦教授に講師を務めていただき、「情報モラル教室」を行った。スマートフォンなどの情報機器との上手な付き合い方、自己管理能力、体に与える影響などの内容を医学的見地から説明していただいた。P T Aや教員にとっても、新しい視点からの講演の内容で、とても参考になり、子どもたちが今後の情報機器との関わり方を見直すきっかけとすることができた。



【学校保健委員会】

(3) 運動会 P T A 種目の運営

毎年5月に行う運動会には「P T A 種目」が企画される。運営・進行の全てを P T A が行い、盛り上がる種目の一つである。保護者の種目であるが、子どもたちからは大きな歓声が上がり、保護者のやる気を一層奮い立たせる。



【P T A 綱引き】

(4) 除草作業

8月の最終土曜日は、P T A が主体となり、除草作業を行っている。保護者だけでなく、地域の住民、学校の板山っ子応援隊、スポーツクラブや障害者施設の関係者など、多くのボランティアによって学校が見違えるようにきれいなる。作業を通して近くの人同士でも会話が生まれ、人と人との、地域との交流の場にもなっている。



【除草作業】

(5) P T A だより「板山学苑」の発行

P T A だよりは P T A 広報部が中心となり、毎学期に発行している。1学期は学校や職員そして P T A の紹介である。2学期は学校や学年の行事が中心となり、3学期は1年のまとめや卒業に向けての内容が中心となる。学校の P T A だけでなく、地域の方々もとても楽しみにしているようである。



【P T A だより「板山学苑」】

(6) P T A 親子プール清掃

学校プールの使用に伴い、これまでは高学年の児童が担当をしてきた。しかし、そのプール清掃を P T A が請け負い、P T A の役員と親子ボランティアを募集し、プール清掃を行った。50名近くの親子の参加があり、親子の貴重なコミュニケーションの場にもなった。

(7) 資源回収

毎年2回、1月と6月には P T A 環境整備部が中心となって資源回収を行っている。新聞・雑誌・アルミ缶などを集め、収益は P T A 会費として、子どもたちや P T A の活動に還元できるようにしている。毎回数万円の収益があり、P T A 活動の充実には欠かせない取り組みの一つとなっている。



【資源回収】

#### (8) 学校運営協議会との連携

板山っ子応援隊(学校運営協議会)と連携し、協働的な活動を通して、「地域を学ぶ→地域に愛着をもつ→地域に誇りをもつ→地域のために行動する」児童の育成を推進している。

例えば2年生が野菜作りの学習をした際には、育てたい野菜を育てていく過程で地域の野菜名人に関わっていただき、苗植えや水やりなどの育て方を教わった。その後も、うまく生長しない苗の相談に乗ってもらったり、アドバイスをいただいたりした。

また、3年生の総合的な学習の時間では、竹炭研究会の方の協力を得て、竹炭作りの体験の後、竹酢液について学んだ。竹林を正しく管理することや竹炭を地元の川に沈めることが板山の環境保全に役に立っていることを学んだ。

さらに5年生が、地域の米作りについて学んだ。地域の農家の方に依頼し、田で稲作のことについて学び、田植えと稲刈りの体験を行った。

本校校内にはビオトープがある。地域のありのままの生態系を学ぶ環境となっており、毎年6年生の児童が地域の方と一緒に清掃活動をすることになっている。教えてもらうことだけでなく、ともに活動することの楽しさを地域の方々も感じ取っているようである。

そのほかにも、さまざまな学年の活動に関わっていただいている。



【野菜の苗植え】



【ビオトープ整備】

#### 4 おわりに

令和2年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として、学校が3ヶ月間臨時休業となった。その後、学校行事やPTAのさまざまな活動を中止、そして制限をせざるをえなかった。よもぎまつりでは、それまで盛大に行っていたPTAのコーナーを感染対策により縮小したり、プール清掃を請け負い、子どもたちへの感染の危険を極力減らしたりするなど、子どもたちの笑顔のために力を注いできた。どんな状況下でも、本校PTAは子どもたちのために何ができるかと模索を続けながら活動を続けている。

また本校には、板山っ子応援隊というPTAを陰で支える強力な組織がある。学校とPTA、そして板山っ子応援隊(地域)が力を合わせ、子どもたちの一人一人がこれからの社会を支える担い手となれるよう尽力していきたい。